2026年10月23日
全国商工会連合会

小規模企業景気動向調査　［２０２６年９月期調査］

～天候不順とコスト高が重荷となり、厳しい状況が続く小規模企業景況～

＜産業全体＞

９月期の産業全体の景況は、売上額DI・採算DI・資金繰りDIがわずかに低下、業況DIは不変となった。シルバーウィークの観光需要により一部で売上増加がみられたものの、天候不順による客足や工期への影響、原材料やエネルギー価格の高止まりが、幅広い業種で収益を圧迫した。熊本地震については、直接の被害がない地域においても影響が残るなど、業種を問わず厳しい状況が続いている。

ＤＩ	８月	９月	前月比	前年同月比
売上額	4.3	3.7	▲ 0.6	▲ 3.0
採算	▲ 20.1	▲ 21.7	▲ 1.6	▲ 4.7
資金繰り	▲ 16.4	▲ 18.1	▲ 1.7	▲ 4.9
業況	▲ 17.5	▲ 17.9	▲ 0.4	▲ 4.1

＜製造業（食料品、繊維、機械・金属）＞原材料・エネルギー価格の高騰と諸経費の増加が重荷となる製造業

製造業は、売上額DIがわずかに改善、採算DIはわずかに低下、業況DIは不変となった。機械・金属関連では半導体関連需要を背景に受注増加の動きが続く一方、食料品関連や繊維業では価格転嫁が進まない中、人件費や諸経費が更に増加するなど、利益を圧迫しており、業種や企業規模による差が見られる。
熊本地震の影響については、一部に持ち直しの動きがみられるものの、価格転嫁の難しさもあり、回復は限定的で、先行きにも慎重な見方が続いている。

ＤＩ	８月	９月	前月比	前年同月比
売上額	9.7	11.4	1.7	3.4
採算	▲ 18.3	▲ 19.9	▲ 1.6	▲ 0.8
資金繰り	▲ 15.0	▲ 16.7	▲ 1.7	▲ 2.0
業況	▲ 14.4	▲ 14.2	0.2	1.1

＜建設業＞天候不順と人手不足による工期の長期化に苦慮する建設業

建設業は、売上額DI・採算DIが小幅に低下、資金繰りDI・業況DIがわずかに改善となった。需要は堅調に推移しているものの、天候不順等による工期の遅れや、慢性的な人手不足による受注制限の長期化に加え、長引く資材価格の高騰が採算を圧迫しており、収益環境は依然として厳しい状況が続いている。
熊本地震の影響については、復旧・復興関連の工事需要が増えており、今後も増加が見込まれるが、人手不足や資材調達難が大きな足かせとなっている。

ＤＩ	８月	９月	前月比	前年同月比
売上額	3.8	1.2	▲ 2.6	▲ 8.5
採算	▲ 22.8	▲ 24.7	▲ 1.9	▲ 8.1
資金繰り	▲ 20.7	▲ 18.9	1.8	▲ 7.7
業況	▲ 21.6	▲ 20.0	1.6	▲ 9.0

＜小売業（衣料品、食料品、耐久消費財）＞根強い買い控え傾向と客足の減少が収益を圧迫する小売業

小売業は、売上額DIが不変、採算DI・資金繰りDIが小幅に低下、業況DIがわずかに低下となった。シルバーウィーク特需や観光需要が食料品関連を中心にみられた一方、天候不順による来店客数の減少や野菜価格の高騰、消費者の根強い買い控え傾向が、引き続き、収益を圧迫している。
熊本地震の影響については、店舗や設備、物流面での改善がみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

ＤＩ	８月	９月	前月比	前年同月比
売上額	3.0	2.8	▲ 0.2	▲ 0.3
採算	▲ 21.3	▲ 23.9	▲ 2.6	▲ 3.4
資金繰り	▲ 17.0	▲ 20.1	▲ 3.1	▲ 3.6
業況	▲ 19.9	▲ 21.5	▲ 1.6	▲ 1.8

＜サービス業（旅館、クリーニング、理・美容）＞宿泊需要は堅調だが、天候不順により一部地域で売上が伸び悩むサービス業

サービス業は、売上額DI・業況DIがわずかに低下、資金繰りDIが小幅に低下、採算DIが不変となった。シルバーウィークやインバウンドによる宿泊需要が底堅く推移したものの、全体としては、業種を問わず長雨や台風の影響による来店客数の減少を受け、売上が伸び悩む地域が多く、厳しい経営環境が続いている。
熊本地震の影響については、宿泊キャンセルによる売上減少に加え、休業した事業者もみられるなど、宿泊業を中心に非常に厳しい状況が続いている。

ＤＩ	８月	９月	前月比	前年同月比
売上額	0.9	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 6.1
採算	▲ 18.0	▲ 18.3	▲ 0.3	▲ 6.5
資金繰り	▲ 13.1	▲ 16.6	▲ 3.5	▲ 6.1
業況	▲ 14.3	▲ 15.8	▲ 1.5	▲ 6.8

調査概要

・調査対象：全国303商工会の経営指導員（有効回答数：234/回答率77.2%）
・調査時点：2026年9月末
・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

中小企業問題研究所 担当：渡辺　〒100-0006 千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL：03-6268-0087 MAIL：chusho@shokokai.or.jp